

NEWS RELEASE (2023年3月30日) 取材依頼

「鹿児島大学の地域防災活動」(冊子)を制作しました ～地域の依頼を受け活動できる教員を紹介～

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

このたび、鹿児島大学地域防災教育研究センターでは、地域防災力の向上のため、自治体をはじめ地域の依頼に応え活動できる教員を紹介した「鹿児島大学の地域防災活動」(冊子)を制作しましたので、取材をお願いいたします。

1 制作の趣旨

2022年度(令和4年度)から、本センターでは、自治体や防災関係機関、地域住民のみなさんとさらに緊密に連携し、総合大学としての研究や活動の成果を活かして、災害から生命や財産を守る活動を応援することとしています。このような中、昨年開催したシンポジウム(2022.12.10)等では、自治体や参加者から教員の活動が見えず相談しづらいとの声も寄せられていたことから、このたび、教員の防災に関する活動を紹介した冊子を制作しました。なお、今後も紹介する教員数を増やしていく予定です。

2 冊子の内容

本センター運営委員会委員を中心とした教員16名について、地域防災力の向上に関する、①可能な活動や、②活動実績、③専門分野等を紹介しています。

【教員の所属学部等】

法文学部、教育学部、農学部、工学部、医学部、総合教育機構共通教育センター、
情報基盤統括センター

3 活 用

この冊子を参考に希望の教員を選択し、本センター事務局までご連絡いただければ、関係教員とのマッチングを行い、調整の上、教員の現地での活動につなげていきます。

なお、掲載された以外の活動を希望される場合でも、センターまでご相談ください。

※ 冊子は、無償で提供いたしますが、本センターHP(<https://bousai.kagoshima-u.ac.jp/>)からも閲覧できます。

～裏に続く～

【参 考：依頼を受けた地域防災活動の実績(令和4年度)】

センター運営委員会委員(15名)を対象に報告を求めた結果をまとめたものである。

(1) 活動の総括

①報告者数:13名 ②活動件数:160件 ③参加者数:4,417名

(2) 内 訳

①件数・参加者数

・件数では、「指導・助言等」が71件(45%)と多いが、参加者数では、シンポジウム、セミナー、ワークショップ、招待講演等、出前授業など一般向けの活動が2,607名と全体の59%となっている。

→ 招待講演等は一度に多くの住民に伝えられるため、大きな効果が期待でき、今後も地道に展開していく。

②機関等別依頼

・県内外の自治体、国機関、企業、学校などであるが、自治体からの依頼が一番多く(75件)、全体の47%を占めている。

→ 行政の施策推進に大学が貢献している。

活動項目	件数	人数
シンポジウム	8	1,222
セミナー	1	40
ワークショップ	8	270
招待講演等	19	1,020
指導・助言等	71	868
委員会等	29	734
出前授業	2	55
取材対応	15	15
その他	7	193
合 計	160	4,417

自治体(75)			国機関	企業	マスコミ	学校	その他	合計
県内・本土	県内・離島	県外	34	4	21	4	22	160
47	15	13						

・ただ、依頼した自治体を見ると、いくつかの自治体(12)に限定されていることから、地域防災力の向上のためには、活動を県下全域に展開していくことが求められる。

県内・本土の自治体	件数	人数
鹿児島県	15	246
鹿児島市	23	778
姪良市	3	65
出水市	1	1
鹿屋市	1	2
薩摩川内市	1	50
さつま町	2	101
垂水市	1	1
合 計	47	1,244

県内・離島の自治体	件数	人数
県大島支庁	3	452
奄美市	1	3
宇検村	8	142
龍郷町	1	6
十島村	2	10
合 計	15	613

【問い合わせ先】

鹿児島大学 地域防災教育研究センター

TEL:099-285-8838 担当:田代、謝

MAIL:bousai_tashiro@km.kagoshima-u.ac.jp